

あるテーマで集めもの、拾いものをして、その見せ方一つで面白くもつまらなくもなってしまいます。ルアーボックスの中に入れる間仕切りのされている箱を使って、その中に並べてみると、それは楽しい自分だけの宝箱ができあがります。



ねらい

あるテーマで集めのものをしたりしても、それらを上手に飾って楽しめるようになる。楽しみながら自然のようすを観察できるようになる。また、自然物を楽しくデコレートする、という楽しみを持つようになる。

達成目標

- ・集めもの、拾いものしたテーマについて、どんな自然があるか説明できるようになる。
- ・どのように飾ると楽しく、また、観察の結果がわかるようになるか、説明できるようになる。

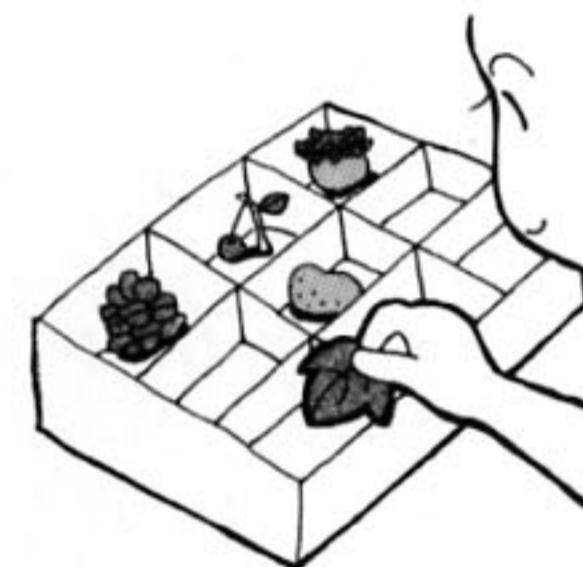


導入

事前にルアーボックスに集めのをしておいて、その作品を見せ、みんなでこれを作ろう、どうがしてみる。どんなテーマで探しに行くか、みんなで相談して決めるといい。

展開

子どもたち全員に、あるいは数人のグループに一つルアーボックスを渡し、テーマを確認したところで、観察の範囲を決め、それぞれに活動をゆだねる。



まとめ

集合時間と場所を決めておいて、子どもたちが集まってきたら、少しだけ作品を整理する時間をとる。作品ができあがったら、お互いに見せ合い、どんなものを見つけてきたか、紹介しあう。

実施のポイント

最後に、作品全体にタイトルをつけたり、説明の紙をはってもらあっても楽しい作品ができあがる。

評価の視点

- 一生懸命テーマのものを探していたか。上手に並べて、
- 楽しい作品ができたか。自分の作品に自信をもっているか。
- 他の人（グループ）の作品のいいところをみつけられたか。

発展・応用

- 季節のテーマを出すとよい。秋を感じるもの、春らしいものなど。

参考文献

オリジナル／「自然教育研究センタープログラム」

◆ 宝箱づくりふりかえりシート

年 月 日 氏名

1. 宝箱のテーマは何にしましたか？

2. 宝箱のタイトルは何としましたか？

3. テーマを表現するのに工夫した所、苦労した所はどこですか？

4. 他の人の宝箱を見て、誰のどんな所に感心しましたか？

5. 今度はどんな宝箱を作ってみたいですか？

6. その他自由に。（宝箱づくりを通して感じたこと、思ったことなど）